

JR山田線復旧の現状と今後の展開は

三鉄移管への一步を踏み出したい



豊間根信議員
(政和会)



多くの乗客でにぎわう三陸鉄道車内
(議員視察研修時)

問 復興拠点整備事業も着々と進み始め、具体的な形が示されてきた。復興計画において基本的に駅を中心とした考えの中で、そろそろ具体的な方

向性を示す状況とと思うが、現状と今後の展開は。
佐藤町長 11月25日、三陸鉄道への運営移管案について赤字補填(ほてん)や運賃差額補填などに伴う協力一時金として30億円をJR東日本が負担する意向が県から示された。課題への具体的な回答は示されない状況だが、詳細は今後検討していくこととし、三陸鉄道移管への一步を踏み出したい。

復興拠点整備事業のコンセプトは

求心力と持続力を備えたまちなか再生を

問 観光交流拠点整備等をはじめとして、ありとあらゆる施策を講じていかねければ、商業事業者の再興は非常に厳しい状況と考える。本町への交流人口を拡大し、町のにぎわいを取り戻していくために、どのようなコンセプトを持って取り組んでいくのか。

インターネットを利用した行政サービスを

各課での対応が可能か検討する

町長 復興後の姿と人口減少や高齢化等の社会情勢の変化に備え、求心力と持続力を備えたまちな

か再生をコンセプトに取り組んでいく。

問 町内各種インフラの整備、補修について町ホームページに受け付けサイトを作成して受け付けできるようにし、進行・対応状況などもサイトに掲載するなど、スピーディーな行政サービスの充実について各課で提案をしては。

町長 ホームページ掲載について各課での対応が可能かどうか検討する。

問 ICTへの取り組み状況と今後の展開は。
町長 ICT街づくり計画実現に向けて事業計画とその財源確保を東北総合通信局と調整・協議中である。

問 今後の検討ではなく、できることから双方向性を持った新しい町づくりに取り組んでいただ

総務課長 豊間根・船越地区のブロードバンド整備をする予定で、事業申請に向け準備中である。